

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月5日

上場会社名 コムシード株式会社  
 コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂入 万弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部ゼネラルマネージャー (氏名) 小倉 誠  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 名

TEL 03-5217-5814

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	324	—	12	—	12	—	12	—
21年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	340.99	—
21年3月期第1四半期	—	—

(注)21年3月期第1四半期につきましては、連結として開示したため、21年3月期第1四半期は記載していません。  
 (注)22年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため、記載していません。  
 (参考) 持分法投資損益 22年3月期第1四半期 ー百万円 21年3月期第1四半期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	841	564	67.1	15,113.81
21年3月期	856	551	64.4	14,772.81

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 564百万円 21年3月期 551百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	640	11.1	10	—	10	—	6	△93.8	160.71
通期	1,300	4.2	65	26.7	63	23.1	55	△80.3	1,473.19

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	37,500株	21年3月期	37,500株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	166株	21年3月期	166株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	37,334株	21年3月期第1四半期	37,334株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は本資料の発生日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4頁をご参照ください。
2. 当期の配当予想は現時点では未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに行う予定です。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、個人消費の一部に下げ止まりの兆しが見られたものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の急速な悪化、さらに世界景気の一層の下振れ懸念などから、景気は先行き不透明な厳しい状況で推移いたしました。

当社を取り巻く環境につきましては、国内における携帯電話の契約数が堅調に推移しており、そのうち第3世代携帯電話等の高速データ通信が可能な端末の台数は10,236万台（前年同月比12.2%増）と、大容量コンテンツの配信が浸透するとともに、パケット定額制の普及が進行する中、端末の多機能化と合わせて、ユーザーの利用用途も拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社は前事業年度に本業回帰を行い中核であるモバイル事業に経営資源を集中し、同時に組織のスリム化による大幅なコスト削減を実行したことにより、前事業年度におきまして営業利益、経常利益、当期純利益が黒字転換し、営業キャッシュ・フローもプラスとなり、継続企業の疑義を解消しております。当事業年度におきましても、引き続き持続的な成長と強固な利益体質の構築に向け、モバイル事業の一層の強化を図るとともに、きめ細かな経費管理の徹底を推進しております。

当社のモバイル事業におきましては、パチンコ・パチスロをはじめとする特定ジャンルのファンに対し、着メロやアプリ等を配信する携帯公式サイトを運営しております。

当社オリジナルサイトのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」では、パチンコホールがパチンコ機に経営の主軸を移行する状況を捉え、人気のパチンコアプリを投入いたしました。また、パチスロ機種情報をはじめ、きせかえツールや電子書籍等の各種ダウンロードコンテンツの充実を行いました。

また、メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行った他、携帯アプリの早期配信や各種イベントの充実も予定通り推移し、かつオリジナル商品の販売も順調でありました。

パチンコ店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）では、引き続きサービスラインナップの拡充、全国パチンコ店舗への営業体制の強化を行いました。

以上の結果、当第1四半期会計期間の売上高は324,851千円（前年同期比9.8%増）、営業利益は12,841千円（前年同期比119.0%増）、経常利益は12,803千円（前年同期比117.1%増）となりました。

また、四半期純利益につきましては特別損益の計上がないことから、経常利益とほぼ同額の12,730千円（前年同期比89.9%減）となりました。

（注）当第1四半期決算短信において比較、分析に用いた当第1四半期会計期間に対応する前年同四半期会計期間の数値は、独立監査人による四半期レビューを受けていないため、前年同四半期増減率は参考として記載しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて15,318千円減少し、841,466千円となりました。これは主として流動資産の減少40,143千円、無形固定資産の減少8,159千円と投資その他の資産の増加35,100千円等によるものです。

負債は、前事業年度末に比べて28,049千円減少し、277,207千円となりました。これは流動負債の減少24,894千円と固定負債の減少3,154千円によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べて12,730千円増加し、564,258千円となりました。これは四半期純利益12,730千円によるものです。この結果、自己資本比率は前事業年度末の64.4%から67.1%に上昇しました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べ17,370千円減少し、当第1四半期会計期間末には349,626千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は25,879千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益12,803千円と減価償却15,214千円の資金が増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は40,038千円となりました。これは主に、長期前払費用の取得による支出35,000千円と無形固定資産の取得による支出3,545千円により資金が減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,211千円となりました。これはリース債務の返済による支出により資金が減少したことによります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、平成21年5月13日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、当事業年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

##### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	349,626	366,996
売掛金	311,221	331,670
商品及び製品	9,630	8,339
原材料及び貯蔵品	2,585	3,159
前渡金	12,180	10,368
前払費用	7,783	8,398
その他	398	4,640
貸倒引当金	△14	△18
流動資産合計	693,411	733,554
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,849	8,849
減価償却累計額	△4,402	△4,236
建物(純額)	4,446	4,613
工具、器具及び備品	7,107	5,713
減価償却累計額	△4,847	△4,688
工具、器具及び備品(純額)	2,259	1,025
リース資産	38,271	38,271
減価償却累計額	△15,888	△12,703
リース資産(純額)	22,383	25,568
有形固定資産合計	29,090	31,206
無形固定資産		
商標権	2,795	2,989
電話加入権	537	537
ソフトウェア	5,415	5,926
商権	19,602	30,602
その他	5,145	1,600
無形固定資産合計	33,496	41,655
投資その他の資産		
投資有価証券	52	52
出資金	100	—
長期前払費用	35,000	—
差入保証金	50,317	50,317
投資その他の資産合計	85,469	50,369
固定資産合計	148,055	123,231
資産合計	841,466	856,785

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	187,662	208,377
リース債務	12,451	12,657
未払金	19,553	20,828
未払費用	1,665	1,658
未払法人税等	715	1,948
未払消費税等	4,564	6,350
預り金	2,081	1,767
流動負債合計	228,693	253,588
固定負債		
リース債務	10,109	13,115
退職給付引当金	15,160	15,309
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
長期預り保証金	3,915	3,915
固定負債合計	48,514	51,669
負債合計	277,207	305,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	663,000
資本剰余金	—	648,500
利益剰余金	12,730	△742,616
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	564,258	551,528
純資産合計	564,258	551,528
負債純資産合計	841,466	856,785

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	324,851
売上原価	201,647
売上総利益	123,203
販売費及び一般管理費	110,362
営業利益	12,841
営業外収益	
受取利息	75
その他	160
営業外収益合計	236
営業外費用	
支払利息	274
営業外費用合計	274
経常利益	12,803
税引前四半期純利益	12,803
法人税、住民税及び事業税	72
法人税等合計	72
四半期純利益	12,730

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	12,803
減価償却費	15,214
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△149
受取利息及び受取配当金	△75
支払利息	274
売上債権の増減額 (△は増加)	20,448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△716
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,714
その他	△105
小計	26,978
利息及び配当金の受取額	75
利息の支払額	△274
法人税等の支払額	△900
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,393
無形固定資産の取得による支出	△3,545
出資金の払込による支出	△100
長期前払費用の取得による支出	△35,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△3,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,370
現金及び現金同等物の期首残高	366,996
現金及び現金同等物の四半期末残高	349,626

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、機動的な配当政策を可能にするため、繰越欠損を全額補填して解消し、財務体質の健全化を図ることを目的に、会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金の額663,000千円のうち94,116千円と資本準備金の額648,500千円の全額を減少させ、その他資本剰余金に振替えるとともに、利益準備金の額892千円の全額を減少させ、繰越利益剰余金に振替えました。また、会社法第452条の規定に基づきその他資本剰余金の額742,616千円の全額を繰越利益剰余金に振替えて欠損補填いたしました。

これらは、平成21年5月13日開催の取締役会において決議し、平成21年6月24日開催の第18期定時株主総会において承認可決されたものです。

なお、資本金及び準備金の減少は「純資産の部」の勘定内の振替処分となり、当社の純資産額に変動はなく、業績に与える影響はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 第1四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		295,776	100.0
II 売上原価		166,490	56.3
売上総利益		129,286	43.7
III 販売費及び一般管理費		123,422	41.7
営業利益		5,863	2.0
IV 営業外収益			
1. 受取利息	245		
2. 為替差益	5,678		
3. その他	337	6,261	2.1
V 営業外費用			
1. 支払利息	427	427	0.1
経常利益		11,697	4.0
VI 特別利益			
1. ライセンス契約解約益	95,883		
2. 事業譲渡益	25,000	120,883	40.9
税金等調整前四半期純利益		132,580	44.8
法人税、住民税及び事業税		237	0.1
四半期純利益		132,343	44.7

## (2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	132,580
減価償却費	16,020
ライセンス契約解約益	△ 95,883
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 6,868
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△ 71,308
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 2,441
受取利息及び受取配当金	△ 245
支払利息	427
為替差損益(△は益)	△5,678
売上債権の増減額(△は増加)	7,214
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,396
仕入債務の増減額(△は減少)	7,986
その他	11,030
小計	△767
利息及び配当金の受取額	245
利息の支払額	△ 427
法人税等の支払額	△ 2,173
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,122
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
無形固定資産の取得による支出	△ 10,787
投資有価証券の取得による支出	△ 50
敷金及び保証金の回収による収入	305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,532
<b>III 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 1,058
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	△ 14,713
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	767,433
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	752,719

## 6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

### (1) 生産実績

該当事項はありません。

### (2) 受注状況

該当事項はありません。

### (3) 販売実績

当第1四半期会計期間に実績は、次のとおりであります。

前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
295,776千円	324,851千円

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期会計期間の主要な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	161,365	54.6	174,570	53.7
KDDI株式会社	75,096	25.4	83,924	25.8
ソフトバンクモバイル株式会社	41,471	14.0	46,588	14.3